

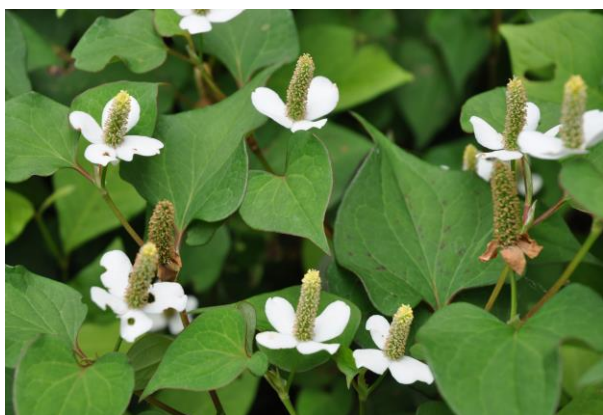
4. ドクダミ（ドクダミ科ドクダミ属）

Houttuynia cordata Thunb.

2014年6月

やや湿った所や半日陰地を好んで生育する多年草です。5月から6月にかけて開花し、7月まで見られます。4枚の白い花弁をつけたように見えるのは葉が変形した総苞で、実際の花は総苞の中央にある棒状の花序（花穂）に淡黄色のごく小さな花を多数つけ、下から順に咲きます。地下茎は白く、細長く横に這い、多数の地上茎を出します。生育地では地下茎が縦横に張り巡らされるため多数の地上茎で群生します。葉は心形で、光沢のない暗緑色で、しばしば茎とともに紅色に染まります。分布は本州から琉球、中国、ヒマラヤ、東南アジアです。

全草に臭気成分があり、これは抗菌作用があります。乾燥させたものは日本薬局方で生薬名「ジュウヤク」（十薬）として記載されています。十薬の語源は10種類の薬効があるというほど、重宝できるという意味です。実際は利尿作用や動脈硬化の予防には効果があるとされますがすべてに利くというものではありません。



ドクダミ 開花状況



ドクダミの花



群生状況



群生状況